

1 / 2 4 ( 日 ) 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 1 5 清和台南小学校 参加者 3 5 名 発言者 2 名  
...ご質問、ご意見 ...川西市教育委員会の説明

#### < 地域の方 >

誰も質問がないので、私の方から、地域の方からちょっと質問させていただきたいと思います。今日説明していただいていますね、この統合の問題の中身は、清小にとっても清南小にとっても具体的な問題やと思います、地域にとっても。これはやはり市の問題でもあろうと思うんですね。やはり教育委員会の中で統合の問題にいろいろな説明を加えられて、されてるのですが。まあしかしながら、オール川西という考え方の中で、やはり川西市全体の問題ととらえていただきたいなと。となってくると、2回目の説明会をしていただいて、また次回どっかで説明会があろうとは思いますが、その時にはやはり、先ほど申しましたように、オール川西で、やはり市長自らちょっとやはり公務で忙しいかもわかりませんが、教育の説明をふまえていただいてですね、先ほど説明があった、10ページの跡地の問題に関して、教育財産として、教育の現場としては、学校とか図書館とか、それから公民館等々運営管理されてると思うんですが、やはりそういった跡地を普通財産、市長部局の方へ移行されるとなってくるとその市長部局の考え方とか、また市長の考え、色々な面があるとは思いますが、そういう方々が来ていただいてですね、跡地の利用についてはこういうふうを考えておりましたというような説明を住民にしていただければ、住民の方も理解もしやすいなというふうに思っているんですが、いかがでしょうか。

ご意見ありがとうございます。ご意見にありましたとおり、小学校の統合というのは本当に重い課題で、やっぱり対応していくべき課題かなと考えております。考え方の基本としては、やはり統合問題の第一っていうのは、子どもたちの学習環境を第一に考えてスタートしていくべきものかな、というふうに考えさせていただいています。従いまして、1回目、2回目の説明会については、やはり教育委員会がきちんと前面に立ってご説明させていただこうと考えています。ただご指摘のように、やはり学校というのは、街づくりとか街の活性化には大切な要素であります。それを統合するということ、それからもしこの統合が円滑に進んだ場合に、その跡地活用というのは、有効的に計画的に進めていくという必要があるかなと考えております。こういった今いただいたご意見、かならず市長部局の方にお伝えさせていただいて、どのタイミングでどういう形で市長部局が説明するかというのは協議をさせていただくことにいたしまして、いずれかにしましても、どちらかの段階で、こういう構想でやっていきたいとか、こういう形で話し合いを進めていきたいということは、ご説明させていただきたいと思います。

#### < 在籍 保護者 >

清小校区の保護者の者です。ここに今どうして参加させてもらったかという、清小の保護者が今の段階では清南小に統合されるということで、色々不満があったり、納得いかない部分があるんです。清南小の保護者の方たちは言ったら何も変わらない、児童数が増える、清小地域の子どもた

ちと一緒に勉強していくってということで、基本的に通学をすることには何ら関係がないので、多分思いが全然違うんじゃないかと思って、寄せてもらった次第です。地域の中で、立場が違えば思いも全く違うというのはまさにこういう場面で出てくると思うんですけど。一度、統合ありきで話が進められてるかと思うんですが、こういう今少子化で統合していく案がでて、じゃあ、清和台地域の皆さんはどうなんですかということで、意見を交換していく、清小地域の保護者、清南小の保護者、またそこにいる地域の皆で話し合う場の機会の提供は、市の方で場を作っていただくようなことは、先々あるんでしょうか。全然、こんなに、質問も、清小はすごい多かったんですけども、今びっくりするくらい、温度差が全然違うと思います。なので、親を一つにまとめるっていうのは、こっちを納得させる、清小地域を納得させることは、お互い理解しあってやらないと、統合したら統合したで、保護者間でも、対立まではいかないかもしれないですけど、やはり不平不満がいろいろな場面が出てくるんじゃないかなという懸念がありますが、話し合いの場を設けていく機会があるのか、教えてください。

ご意見ありがとうございます。確かに、移動しなければならない小学校との違いはあるかと思えます。先ほどご説明させていただいた通学の面であるとか、そういったところで移動する学校にご負担をかけるというのは十分認識しているところでございます。やはり、それぞれの学校、それぞれの自分が通う、お子さんが通われる学校について思いがあるというのは十分認識しております。ただ、まあ、こういう形でそれぞれの温度差があるという形ではありますけれども、やはりこれから先一緒に、子どもたちが活動していくためには、今から地域としてご協力いただくところが必要であるというふうに思っています。お立場や住居によってそれぞれ色々な思いはあるとは思いますが、それを踏まえて、やはり進んでいくべきかなと考えております。同じような形で進めさせていただいているなかで、私はご意見には出されなくても、ここの地域の方の思いはあられるのではないかなと考えております。そういう点から考えまして、私どもが今回説明会をさせていただきますのは、基本的には統合年度と、使用施設ということについては、やはりいろんな意見があるなかで、これによって何もなしに、うちの方でどうですかというんじゃなくて、教育委員会として、使用施設と統合年度についてきちんとした姿勢をお見せする、お示したうえでご意見を受けるのが的確ではないかなと判断させていただいております。ただ、これから先まだまだ、決定したり決めていったり、考えていかなければならない事案は大変多いと考えております。先ほどありました学校名であるとか、歴史伝統を踏まえた校歌であるとか、また、教育課程も違いますし、PTA活動、地域の参加の仕方もいろいろ違うと思います。それらについてはやはり、保護者の方や地域の方の意見もすり合わせていけるというふうに考えております。最後のページ、11ページの下にありましたように、一定、統合年度とか使用施設について様々なご意見があるにしろ、一つの方向性を打ち出したのちには、できるだけ時間をかけてということで、教育に関する協議ということで、地域の方、保護者の方に参加していただきながら協議できるような場をつくってきたいなというふうに考えています。31年度という期間、ある者にとっては非常に早い時期、ある者にとっては長いというかもしれませんが、私どもとしては、単学級が発生するのをめどに考えております。この時間をできるだけ、先ほ

どもいいましたように、統合した後、子どもたちの教育活動のプラスになるように、話し合  
っていけたり、協議していったり、というような時間にあてていきたいな、というように考  
えているものでございます。

---

終了